



平成31年になり、3学期が始まりました。今年は猪年です。復興に向かって猪突猛進の年にしていきたいと思っています。12月の各学部・部門の活動の様子をお知らせします。



小学部(知的障害部門)

小学部では、様々な学年間で交流学习に取り組んでいます。3年生は魚釣り、輪投げなどのお店の店員さんになって2年生を招待しました。その後、2年生が交流学习「なかよくなろう」で3年生を招待し、いすとりゲームや2人組でのリレーなどをしました。5年生は、お寿司屋さん、TAKODOG屋さん、ピザ屋さんのお店を開いて、多くの学年を招待しました。招かれた学年も、6年生は「修学旅行の発表会」に5年生を招待したり、4年生はお礼の手紙を書いたり、2年生は手作りのホットケーキを届けたりと、学年以外の人との様々な関わりの中で、学習が広がっていきました。また、6年生は、岡山南支援学校の6年生といもほりで交流をしました。友達と一緒に掘る様子も見られ、楽しいひとときを過ごすことができました。



中学部(知的障害部門)

12月3日の参観日は倉敷支援学校の体育館で「学習発表会」を行いました。生徒たちは限られた環境の中で準備や練習に取り組み、本番に臨みました。1年生は「校歌」と「ドレミの歌」の合奏と合唱を、2年生は「やってみよう」の合奏、「365日の紙飛行機」の合唱と「リトミックと歌あそび」を発表しました。3年生は「修学旅行に行こうよ」というタイトルで合唱や演奏などをしました。修学旅行の活動の中から自分で選んだ活動について、「大きな声でゆっくり」を目標に、一生懸命セリフを練習した成果を発表できました。3年生になって初めてチャレンジしたウクレレやギターも、しっかりコードを押さえながら演奏することができました。



高等部(知的障害部門)

高等部では、はたらく力を身につけることができるよう日々の学習に取り組んでいます。その力を地域の人たちのために役立てることができるよう、職業コースのフードサービスの生徒は、吉備のまきび公園の清掃を始めました。公園の中を掃除したり、落ち葉を拾ったりする他、公園内の茶屋の窓拭き、トイレ掃除、部屋の掃除などを行っています。



また、生活コース3年生は美術の授業で地域への応援メッセージを作りました。



日頃からお世話になっている地域への貢献活動を、今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。

肢体不自由部門

人権教育講演会では、車椅子レースの選手である、松永さん、佐藤さん(リオパラリンピック銀メダル)、生馬さんに来ていただき、講演やレーサーの試乗を行いました。普段見ることのないレーサーに乗り、児童生徒たちは興味津々でした。



また、肢体不自由部門では、月1回程度ボランティアの方に来ていただいて、コンサートを行っています。12月は、ピアノ、フルート、チェロの演奏者が、ジブリの曲やクリスマスソングなどを演奏してくださいました。美しい音色にうっとりしたり、楽しいクリスマスソングに体を動かしたりしながら聴くことができました。

